

水稻オリジナル新品種「天^{てん}のつぶ」について

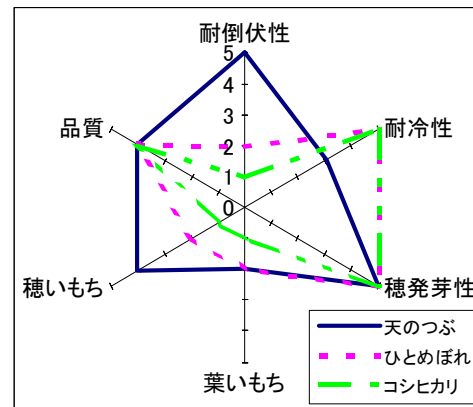
平成22年11月12日
研究技術室

1 開発経過

- (1) 本品種は、本県に適した良質・良食味品種の開発を目標として平成7年に交配し、評価と選抜を繰り返して、平成21年に開発を完了した。
- (2) 交配の組み合わせは、母「奥羽357号」×父「越南159号」で、ひとめぼれの血筋を引いた品種である。
- (3) 平成22年7月に「天のつぶ」と命名し、品種登録及び商標登録を申請した。



左:天のつぶ、中:ひとめぼれ、右:コシヒカリ



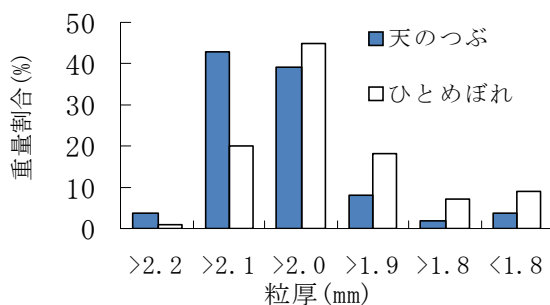
天のつぶの栽培特性

2 品種特性及び品種名の由来

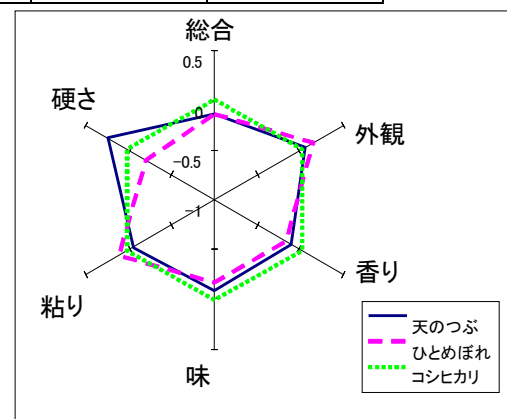
- (1) 「天のつぶ」という名称は、穂が出るときに天に向かってまっすぐ伸びる稲の力強さと、天の恵みを受けて豊かに稔る一粒一粒のお米をイメージして命名した。
- (2) 稈長がやや短いことから倒伏しにくく、いもち病にも強い栽培しやすい品種である。
- (3) 収量性は、「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」に比べてやや優り、粒ぞろいが良く、食味は、「ひとめぼれ」と同等の良食味である。

【「天のつぶ」と福島県主要品種の特性一覧】

品種名	収量	品質	食味	耐病性
天のつぶ	◎	○	○	◎
コシヒカリ	○	◎	◎	○
ひとめぼれ	○	○	○	○



天のつぶの粒厚分布



天のつぶの食味特性